

法学政治学研究科の理念・目的

本研究科は、グローバル化と情報化が進展する現代社会において、幅広い視野、正確な分析力、的確な判断力、高度な社会科学的思考力を備えるとともに、法学と政治学の専門的研究能力を備え、社会や学界に貢献する豊かな研究成果を生み出すとともに、社会問題の解決に貢献できる人材の育成を目的とする。

法学政治学研究科の教育目標（人材育成方針）

成蹊大学法学政治学研究科は、個人の権利及び社会と組織の円滑な活動を保障する法と政治の実現に寄与することを理念とし、法と政治に関する専門的な知識を与えるとともに、それを通じて社会科学的な思考力と合理的な判断力を持った国際感覚豊かな人材の養成を図る。法学政治学研究科では、成蹊大学共通の人材育成方針を踏まえ、人材育成目標を以下のように定める。

<大学共通>

- 1 広い教養と深い専門知識を備え、課題発見、解決に向けて本質を探究する思考力を養成する。
- 2 多様な文化、環境、状況に対応し、他者と協働できる真のグローバル力を養成する。
- 3 未知のものに積極的に挑み、生涯学び続けようとする自発性と積極性を養成する。
- 4 個を具え、自分の考えや意見を的確かつ明瞭に表現、発信する力を養成する。

<研究科共通>

- 5 博士前期課程 法律学又は政治学の分野において、さまざまなかたちで社会に貢献する研究などの活動を行うための基礎的研究能力と専門的知識を備えた人材を養成する。
- 6 博士後期課程 法律学又は政治学の分野において、社会及び学界に貢献する優れた研究者を養成する。

<法律学専攻>

- 7 国際的に多様な価値観を理解しつつ法的課題を発見し、法による解決を探究する法的思考力を養成する。
- 8 社会の変化を見据えながら将来にわたって法解釈と法的研究を続ける個人の価値観の確立と表現力、発信力を養成する。

<政治学専攻>

- 7 グローバル化・情報化する社会に必要な広い視野や、的確な分析力と判断力、高度な社会科学的思考力を養成する。
- 8 社会や学界に貢献する豊かな研究成果を生み出すための学問的研究能力を養成する。